

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。補助競技場が使用できない場合、本競技場の一部を開放することもある。その場合、競技役員の指示に従うこと。 ※ 公園内など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、競技開始40分前から行うものとする。ただし、棒高跳は、競技開始80分前から行うものとする。練習は競技役員の指示に従い、危険防止に努めること。

3 競 技 場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は両日とも7時30分予定とする。
- ・開門前の応援席確保については、正門のところから各団体2名が競技場フェンスに沿って整列すること。他の者については、一般行人の妨げにならないよう、レストハウス前広場か公園内道路で待機すること。サブトラックは、8時より利用できる。

4 招 集

- ・招集所は、100mスタート付近に設ける。 ※但し、棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場とみなし、出場を認めない。
- ・招集時刻は下記の通りである。
 - トラック種目・・・競技開始35分前から20分前まで（リレー種目は7を参照のこと。）
 - フィールド種目・・・競技開始55分前から40分前まで（棒高跳は100分前から80分前まで）
- ・招集要項
 - ①競技者は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてアスリートビブス確認の為、ユニフォームを着用してチェックを受ける。
 - ②競技者は競技開始10分前に、各競技場所でユニフォームを着用した状態で最終確認を受けること。
 - ③代理人による最終確認は、認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を本人又は代理人が競技者係に申し出て了解を得ること。

5 アスリートビブス

- ・アスリートビブス（横浜市陸協指定）は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目の競技者は1枚を胸又は背に結着するだけでもよい。
- ・本大会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
- ・トラック種目は競技者係で腰ナンバー標識を渡されるので、右腰に結着する。競技終了後、各自持ち帰ること。
- ・男子5000m、女子3000m、中学男子3000mについては、競技者係で特別ナンバーカードを渡されるので、これを胸と背に結着する。その際、正規アスリートビブスを必ず持参して確認を受けること。競技終了後、各自持ち帰ること。また、男子5000mではトランスポンダー用のチップ付き腰ナンバー標識を渡されるので、これを左腰に結着する。これは競技終了後、返却すること。
- ・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて、再発行を受けること（2枚300円）。選手本人作成のアスリートビブスは認めない。
- ・5000mに出場する競技者は安全ピンを16本用意し、その他の競技者は12本用意すること。

6 トラック競技について

- ・トラック競技では、すべて写真判定装置を使用する。
- ・トラック競技の組走路順は、主催者が抽選プログラムに示す。
- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正出発で失格とする。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）が与えられることがある。
- ・本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、競技会からの除外はしない。

- ・中学男子3000m、男子5000mは段差スタートとする。
- ・中学男女800mはオープンスタートとする。

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、競技開始時刻の1時間前までに競技者係へ提出する。リレーオーダー用紙はプログラムの最終ページに添付してある。不足は、競技者係で受取ること。
- ・参加チームは、招集開始時間から完了時間の間に、招集所で4人がユニフォームを着用してチェックを受ける。
- ・各走者は現地にて競技開始10分前に最終点呼を受ける。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、原則として4名とも同色のものとする。
- ・4×100mRでは、1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。
- ・腰ナンバー標識は、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2走・3走・4走が右腰に結着すること。
- ・招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。また、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。

8 フィールド競技について

- ・走幅跳、三段跳において、A・Cピットはトラック側、B・Dピットはスタンド側とする。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

9 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール・砲丸・円盤・やりについては、検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものを競技者全員が使用できる。(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前で行う。)
- ・競技用シューズの靴底の厚さについては以下を守ること。

種目	ソールの最大厚さ
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm
トラック競技 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25mm
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm
三段跳	25mm

10 抗 議

競技規則TR8に従い行うこと。

11 そ の 他

- ・参加中学校・高校の顧問は、必ず競技役員または補助役員として、競技会運営に協力すること(下記「学校受付について」を確認すること)。
- ・アスリートビブス(横浜陸協指定)を紛失または忘れた競技者は、本部にて新しいアスリートビブス(2枚300円)を購入し使用すること。個人で作成したものは使用できない。
- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任で受けること。保険加入等、各自事故防止対策を行い競技会に参加すること。また、アイシング用の氷は各競技者、チームで用意すること。
- ・プログラムの訂正は、申し込み責任者が本部総務まですみやかに申し出ること。
- ・競技終了後、ゴミは各自持ち帰る。
- ・本競技場スタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・競技場内での付添い及び応援は禁止する。
- ・競技場内および練習場内への飲料の持ち込みは水のみとし、その他の飲料は持ち込まないこと。
- ・貴重品は各自で保管し、盗難・紛失には十分注意すること。
- ・記録証は、記録情報処理室にて一部500円で発行します。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷いての占有を禁止する。
- ・貴重品は各自で管理し、盗難・紛失には十分注意する。
- ・本部室の裏側通路の占有は、通行の妨げになるので禁止する。
- ・競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

学校受付について

- ・各参加校の中学・高校の引率顧問の先生は大会当日7：30～8：00の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。その際、競技役員または補助役員として協力いただく先生のお名前を申し出ていただきます。担当の係については当日に指示があります。

※顧問引率のない場合は、中体連・高体連試合参加規程の通り、出場は認めません。
(クラブチームの場合は、この限りではない。)

安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、競技者、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
(※本競技場においては、1、2、3レーンを周回練習に使用し、5、6、7、8レーンを流し等で使用する予定。状況によっては、変更の指示がある。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止のために必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物（やり等）の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ、メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。
(サブトラックその周辺を含む)
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。

三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではありません。レストハウス内のトイレ・更衣室・通路は共用スペースですから、占有使用は認められておりません。よって大会開催時にシート・マット等を敷き占有する等の使用方法は認められませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
尚、大会開催時に通路等に占有物が確認されましたら、大会本部として撤去いたします。